

# 時代の架け橋

登録文化財 綾部大橋の76年



綾部の戦後  
と1人の行  
方不明者を  
出すなど、

綾部市内で24人の死者

④

## 28年の大水害にもジッと耐えた

松町の市民センター前に放置されている。



昭和28年の大水害にも耐えた綾部大橋。水が引いたあと、橋を行き交う市民ら＝市提供

の災害史上で最大の被害 綾部大橋の近くで建設中  
をもちこたした台風13号が 襲来したのは昭和28年9月25日。当時、市職員  
だった上野町の町井貞一 さん(99) Ⅱ写真Ⅱは、  
松町寺下辺りで流れが90 度近くカーブしている由  
良川の水面が、味方町か 美さん(84)は消防団員  
のような感覚で、対岸に 目にし、「綾部の町を守つ  
ていた松並木も見えな かった」と町井さん。ふ  
と上流に目をやると、並 をはつきり覚えている。  
松町寺下辺りで流れが90 度近くカーブしている由  
良川の水面が、味方町か 美さん(84)は消防団員  
の災害史上で最大の被害 綾部大橋の近くで建設中  
をもちこたした台風13号が 襲来したのは昭和28年9月25日。当時、市職員  
だった上野町の町井貞一 さん(99) Ⅱ写真Ⅱは、  
松町寺下辺りで流れが90 度近くカーブしている由  
良川の水面が、味方町か 美さん(84)は消防団員  
の災害史上で最大の被害 綾部大橋の近くで建設中  
をもちこたした台風13号が 襲来したのは昭和28年9月25日。当時、市職員  
だった上野町の町井貞一 さん(99) Ⅱ写真Ⅱは、  
松町寺下辺りで流れが90 度近くカーブしている由  
良川の水面が、味方町か 美さん(84)は消防団員

だった並松町の市浄水場 付近にいた。

施設はほとんど完成し

ていたが、由良川のそば にある取水口のふたが取  
り付けられていなかっ

た。台風13号の豪雨で由

良川の水位はどんどん上

がる。危機感を感じた町

井さんらは、一刻も早く  
ふたを設置しようと作業  
を進めていた。

激しい雨で対岸が白く  
かすむ。「ちょうど、す  
りガラス越しに見ている

ら並松町側へ向かって遠  
心力で斜めに傾いて見え  
たというのだ。

「あれだけ大水になる

とは思わなかった」

やがて、由良川は氾濫

し、町井さんの膝あたり

まで水が付き、標高の低  
い家屋は浸水を始めた。

危険を感じた町井さん

は、浄水場の施設に避  
難。水かさが増すにつれ

した時、町井さんは綾部  
大橋の親柱が水面の上で  
立ちあがっているのを

として人命救助に当たっ  
ていた。町内の由良川沿  
いの家を回り、残ってい

る人に避難するよう呼び

かけるが「中には『家と

一緒に流されて死ぬか

ら、ほっといてくれ』と

言う人もいた」と振り返  
る。そして綾部大橋は、

「橋脚に太い材木がもの

凄いい勢いで当たっていた  
が、橋はビクともしな

かった」  
こうして綾部大橋は、  
通称「28水」とか「28

その親柱を「大水害  
に耐えた橋の象徴とし  
て安置できないもの  
か」と考えた町井さん  
は市民らと協力し、28  
水から丸50年を経た平  
成15年9月25日、味方  
町の紫水ヶ丘公園内に

「水の記憶の碑小公園」  
を整備し、親柱を移し  
た。28水の激流に耐え  
た親柱は、これからも  
静かに由良川を見守り  
続ける。  
(岡田圭司記者)